

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども通所サービス ひかり		
○保護者評価実施期間	8年 2月 2日		8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	8年 2月 2日		8年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年、児童の支援に従事している職員がいるため日々の取り組みなど充実している	巧緻動作・認知機能・クッキング・微細運動から粗大運動まで 1人1人が成長できる取り組みを行っている	支援の内容が固まらないように日々おこなう療育を事前に決め事前準備をし取り組んでいる
2	資格保有の支援員がいるため専門的な支援ができる	強度行動障害実践研修 介護福祉士がおり専門的なミーティングを行い支援にとりくんでいる	保育士取得をした職員を雇いさらに充実を図りたい
3	日中一時支援・ショートステイがあり 仕事をしている保護者様のレスパイトケアや保護者様自身に困ったことがあった時の対応ができる	保護者様のニーズに寄り添う出来る限りの要望を聞いて取り組んでいる	グループホームなど今後の取り組みだと思っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間で障がいに対する認識や知識に対して差がある	以前は講習会に参加していたがコロナ禍に入り参加出来ない期間があり、その後の講習にあまり参加できていない職員がいる	YouTube等を活用した施設内での勉強会や市が開催している講習会等に参加する機会を作り職員間の障がいに対する認識の差を軽減していく
2	活動内容や施設での様子などが保護者に伝わっていない	施設の活動スペースや職員配置数、避難訓練等の実施についてわからないとの返答が多かった	面談時等の施設訪問時に活動スペースを見てもらったり、毎月の広報にて案内を強化したりして保護者へ発信していく
3			